

国際化学肥料ニュース (2013年8月)

肥料業界の2013年8月動態

- * インドからの統計データによれば、旺盛な需要に支えて、今年4~6月の塩化加里輸入量が21.4万トン、29万トン、48.7万トンであった。インドで開かれた第6回インド-ベラルーシ経済貿易交流促進会において、インド側はベラルーシとの間に長期的な塩化加里契約の締結とインドがベラルーシに塩化加里合弁企業の設立を提案した。インドは塩化加里をすべて輸入に依存している。

- * アメリカ肥料研究所 (TFI) が発表した7月末現在の北米肥料在庫に関するデータによれば、塩化加里在庫量が6月末より3%増、前年同月より17%増、最近5年間の平均より37%増。DAP在庫量が6月末より8%増の49.6万トン、前年同月より19%増、最近5年間の平均より5%増。
7月のDAP生産量49.3万トン、販売量49万トン。MAP生産量34.4万トン、販売量30.7万トン、在庫50.7万トン。DAPとMAPを含むりん酸肥料在庫量が6月末より4%増、前年同月より30%増、最近5年間の平均より20%増である。
在庫量増加の原因は、世界の肥料需要が落ち込んで、化学肥料の値下げが期待する需要家が多く、買い控えするためと推測する。

- * ロシア Uralkali の CEO Baumgartner は Uralkali が BPC 離脱した後の記者会見で、8月からフル生産体制を構築し、年間1050万トン塩化加里を生産し、2014年に1300万トンに達する考えを発表した。また、Uralkali が価格の安定ではなく、市場シェアを拡大することを目標とする。専門家の観測では、今年下半期のCFR価格が350ドル/トンに値下げして、スポット価格が300ドル/トンの可能性もある。

- * ロシア Uralkali が BPC から離脱してから2週間後の8月中旬、東南アジア地域のタイ、マレーシア、フィリピン、ベトナムに塩化加里 CFR 価格が先月末より20~55ドル下落し、380~450ドル/トンとなった。それでも買手がほとんどなく、一段の下落が予想される。

- * 8月14日からベラルーシ代表団がインドを訪問し、下半期のインドに対する加里肥料の輸出についてインド政府関係部門と商談した。地元の報道によれば、双方が両国政府間に塩化加里購買一括契約を締結することを提案したが、インド輸入商社側はそれを反発し、現在の入札方式を堅持する主張である。

- * インド政府の統計データによれば、今年4～7月に200万トン、金額6.14億ドルの尿素を輸入した。また、雨季の到来により、8～10月の輸入量がさらに増加する見込み。インドは2012～2013年度には総額30億ドル、700万トンの尿素を輸入する計画。

インドの尿素需要量は3000万トン／年、自国の生産能力が2200万トン、不足の800万トンは輸入に依存する。また、インド政府は尿素に対する5360ルピー（約80ドル）／トンの補助金を出している。

- * ロシア1～6月の加里肥料輸出金額が昨年同期より37%減の11.32億ドル。しかし、窒素系肥料（主に尿素）の輸出金額が7.4%増の18.55億ドル。

- * 尿素の国際市場価格の不振を受け、ウクライナのNF Trading社は9月からすべての尿素生産を短期間に停止することを決定した。7～8月、当該社は工場稼働率が50%前後までに低下し、尿素14万トン／月しか生産しなかった。

大手各社の営業業績

- * カナダ Potash Corp が今年第2四半期の業績を公表した。粗利10億ドル、純利益6.43億ドル。内訳は塩化加里販売量250万トン、平均単価356ドル／トン、粗利6.13億ドル。窒素肥料販売量140万トン、尿素の平均価格406ドル／トン、粗利2.76億ドル。りん酸塩（りん酸肥料を含む）90万トン、平均価格517ドル／トン、粗利900万ドルであった。これによって、今年上半期の粗利18億ドル、純利益12億ドルであった。その中、会社が海外からの配当金は8900万ドル、上半期1.66億ドルであった。

- * ロシア Acron社は2013年上半期の営業収入342.51億ルーブル、純利益52.36億ルーブル、昨年同期より20%減であった。

肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- * 7月16日、アメリカ CF Industries社は、ルイジアナ州とアイオワ州政府が当該社申請した窒素肥料工場の拡張計画を最終許可したと発表した。

その計画はルイジアナ州 Donaldsonville に21億ドルを投資して、年間生産能力アンモニア120万トン、尿素123万トン、硝酸53万トン、硝安160万トンの生産ラインを増設する。尿素と硝安は2015年下期から、アンモニアは2016年上期から生産開始予定。

一方、アイオワ州 Port Neal に17億ドルを投資して、年間生産能力アンモニア77万トン、尿素123万トンの生産ラインを増設する。2016年上期から生産開始予定。

この2件の拡張計画が完了すれば、CF社の窒素肥料生産能力が約35%増加する。

- * アラブ首長国 **Fertil** の新しい尿素工場が完成し、**8** 月末にフル操業が可能となる。新工場はアンモニア **2000** トン／日、大粒尿素 **3500** トン／日の生産能力を有し、**9** 月から全量輸出に供する。
- * **8** 月 **8** 日、エジプト **OCI** 社はアルジェリア国営炭化水素公社 (**Sonatrach**) との合弁企業 **Sorfert** 工場の **No.2** 系列尿素ラインが正常に稼働し始めたと発表した。先月稼働した **No.1** 尿素ラインを合わせて、年間 **80** 万トンアンモニア、**130** 万トン大粒尿素の生産能力を有する。**8** 月から大粒尿素の輸出も始めた。
- * ロシア **EuroChem** 社はアメリカのルイジアナ州に **15** 億ドルを投資し、生産能力が **70** 万トン／年アンモニアと **100** 万トン／年尿素の工場を建設する計画を打ち上げた。**2014** 年上半期に工場の建設地を決定する予定。
 ルイジアナ州政府は **2012** 年から **EuroChem** 社を誘致し、税金等の面で優遇措置を打出して、誘致に成功した。
 アメリカはアンモニアと尿素の需要が旺盛で、国内生産が足りなく、昨年に **640** 万トンアンモニアと **680** 万トン尿素を輸入した。

その他

- * ロシア **Uralkali** 社が **BPC** から離脱することを受け、ベラルーシ **Belaruskali** 社はカタール **Muntajat** 社との間に加里肥料に関する販売連合を設立協議に入った。その内容は **Muntajat** 社が毎年 **Belaruskali** 社の塩化加里 **300** 万トン販売するものである。
 Muntajat 社は昨年設立したカタール国営企業で、石油化学品化学製品の輸入と国内販売を独占する。その **HP** 紹介によれば、年間 **1000** 万トン石油化学品とプラスチック原料、肥料を販売する。
- * **8** 月 **7** 日、カナダ **Potash Corp** の **CEO Doyle** 氏は記者会見で、**Uralkali** の **BPC** 離脱により塩化加里価格が暴落する観測を否定した。また、ロシアとベラルーシの友好関係及び世界加里肥料メーカーの関係が良好で、**Belaruskali** が **Uralkali** の要求を受け入れれば、**2~3** 年後に **Uralkali** が **BPC** に復帰するだろうと推測した。
 7 月 **31** 日、ロシア **Uralkali** はベラルーシ **Belaruskali** が **BPC** を経由しないで独自に塩化加里を販売することに反発して、**BPC** を離脱すると発表した。
- * パキスタン新聞報道によれば、パキスタン政府は輸入尿素 **30** 万トンには **25** 億ルピー (**2425** 万ドル) の補助金を支出することを決定した。今年 **7** 月、パキスタンの尿素入札で、**3** 社からそれぞれ **7.5** 万トン、**7.5** 万トン、**15** 万トン尿素を輸入する契約を締

結した。CFR 価格は、317 ドル／トン、309.9 ドル／トン、311.71 ドル／トンである。パキスタン政府は輸入尿素の国内販売価格を 1600 ルビー／50kg と設定して、その差額を補助するために上記の補助金を支出することになる。

- * 8月27日、ロシア通信社はロシアの Uralkali 社 CEO Vladislav Baumgertner 氏がベラルーシ総理からの要請を受け、ベラルーシを訪問し、総理と会談した後、空港で逮捕されたと報道した。逮捕の理由は、Uralkali 社が BPC 脱退の事件に Baumgertner 氏が BPC の総裁として職権乱用したとされる。

また、ベラルーシ政府の調査委員会は 8月27日に Uralkali 社のベラルーシにあるすべての資産を没収する可能性があると発表した。これに対して、ロシア政府第 1 副総理は、逮捕が国際法違反で、速やかに釈放すべきである。また、本件に対してロシアが適切な対応策を打ち出す用意があると述べた。